

INSTRUCTION MANUAL

危険

屋外使用専用



一酸化炭素の危険

このストーブは、無臭の一酸化炭素を発生する可能性があります。密閉された場所で使用すると、死亡事故に至る場合があります。

キャンピングカーやテント内、出入口、車内、屋内等、換気の悪い場所では、ストーブを絶対に使用しないでください。

火災・爆発の危険

ガスの臭いがする場合

1. ストーブに点火しないでください。
2. 裸火は消してください。
3. ガスカートリッジを外してください。
4. 直ちにその場から避難してください。
5. 再点火する時は、ガスが拡散するよう5分間以上時間をおいてください。

これらの指示に従わない場合、火災や爆発が起き、物的損害、怪我、死亡事故などを引き起こす恐れがあります。

安全のための注意事項

このストーブや他のストーブの近くで、ガソリン等の引火性ガスを発生する液体を保管したり、使用したりしないでください。

一酸化炭素、火災、爆発の危険

このストーブと燃料の使用により、重大な危険が生じる場合があります。失火や爆発、誤用により、死亡事故や重度のやけど、物的損害を引き起こす恐れがあります。使用者には、自分自身の安全および周りの人たちに對する安全の責任があります。この取扱説明書を熟読し、適切な判断を行ってください。ガスカートリッジを取り付ける前に、取り扱い方法に習熟してください。この取扱説明書は、後日参照できるように大切に保管してください。

このストーブは、屋外での調理専用の軽量コンパクトなストーブです。その他の用途には絶対に使用しないでください。屋外での調理は、家庭での通常の調理とは異なる危険があります。屋外での調理に関するさまざまな情報については、お近くのアウトドア用品取扱店等に相談してください。アウトドアレジャーを楽しむには、その前に資格を持った専門家のアドバイスを受けてください。

このストーブは、可燃性が高く、爆発性の液化石油ガス (LPG) カートリッジを使用します。このストーブは、EN 417 として認定されているイソタン 80%、プロパン 20%の混合ガスカートリッジ専用のストーブです。他の種類のガスカートリッジは使用しないでください。次の安全情報に従ってください。

- ガスカートリッジを取り付ける前に、ガスカートリッジ側のシールが正しくセットされ破損・磨耗していないかどうか確認します。シールが破損・磨耗している場合は、ストーブを使用しないでください。
- ガス漏れがないことを、音と臭いで確認してください。ガス漏れは非常に危険です。LPG 自体は無色・無臭で、添加されている強い臭いも、時間の経過とともに薄れることがあります。臭いだけでガス漏れが必ず発見できるわけではありません。ストーブが漏れていたり損傷している場合、正しく操作できない場合は、決して使用しないでください。
- ストーブとガスカートリッジが確実にきっちりと接続されていることを確認してください。接続がしっかりしていないように見えたり感じたりした場合や、ガス漏れの音や臭いがしてガスを止められない場合は、ストーブやカートリッジの使用を中止してください。引火源となる恐れのあるものから離れた換気の良い場所に移してから、ガス漏れ箇所を確認し、漏れを止めてください。
- ガス漏れを点検は、必ず屋外で、石鹸水を使用して行ってください。火を使わずにガス漏れを点検することは、絶対にしないでください。ガス漏れを起こしているストーブを使用すると、火災、やけど、重度の怪我、死亡事故を引き起こす恐れがあります。
- 227g以上または高さ10cm以上のガスカートリッジは、使用しないでください。大型カートリッジでは、ストーブが不安定になります。
- 直径10cm以下のカートリッジを使用する場合は、別売のMSRカートリッジスタンドを使用してください。
- ストーブや燃料は、他の熱源の近くに保管しないでください。ウインドスクリーン等は使用しないでください。ガスカートリッジは、高温にさらされると、ガス漏れや爆発を引き起こし、火災や重大なやけどに繋がる恐れがあります。
- ガスカートリッジに書かれている使用と保管に関するすべての警告に従ってください。
- このストーブや他のストーブの近くで、ガソリン等の引火性ガスを発生する液体を保管したり、使用したりしないでください。
- このストーブは、取扱説明書に記載された範囲外の分解を行わないでください。このストーブは改造しないでください。この取扱説明書の指示に一致しない方法でのストーブの分解または改造は、保証が無効になります。また、火災、やけど、重度の怪我、死亡事故などが起きる危険な状況を引き起こす恐れがあります。
- 部品が欠けていたり破損している場合や専用交換部品以外が使用されている場合は、ストーブを使用しないでください。部品が欠けていたり破損している状態や専用交換部品以外が使用されている状態でストーブを使用すると、火災、やけど、重度の怪我、死亡事故などが起きる危険な状況になる恐れがあります。

WindBurner™ ストーブシステムはコンパクトで、かつ高さがあるという特徴のため、他の高さの低いストーブシステムよりも簡単に倒れる場合があります。転倒を防ぐには、以下の方法があります。(1) WindBurner 専用調理器具のみを使用する。(2) 燃焼しているストーブから目を離さない。(3) 幼児やペットがストーブに近づかないようにする。(4) 常に表面が平らで安定した場所で使用する。(5) 記載されている取り扱い方法に一致しない方法や本来の目的以外にストーブを使用しない。ストーブが転倒すると、火災、やけど、重度の怪我、死亡事故を引き起こす危険な状況を引き起こす恐れがあります。

危険 以下の場合は、ストーブを使用しないでください。(1) この取扱説明書すべてを読み、完全に内容を理解する前。(2) 燃焼しているストーブ、または熱いストーブを取り扱うことに対して、まだ慣れていない不安な場合。(3) ガスが漏れているのを発見した場合。(4) ストーブあるいはその周囲に重火器具の操作を危険にする要因を発見した場合。これらの指示に従わなかった場合、火災、やけど、重度の怪我、死亡に至る危険が発生する恐れがあります。

サーマルトリップ機能 WindBurner™ ストーブは、サーマルトリップ機能を内蔵しており、過熱した場合自動的に消火します。WindBurner 調理器具以外の使用や高温下 (49°C) での保管、バーナーユニットの損傷、不適切な点火方法等の場合、過熱することがあります。

サーマルトリップ機能が作動した場合、消火後 5 分程経過して充分温度が下がればリセットできます。サーマルトリップ機能が繰り返し作動する場合は、内部パーツが損傷している可能性があり、ガス漏れや、火災、やけど、重度の怪我、死亡事故等に至る恐れがあります。サーマルトリップ機能が繰り返し作動する場合は、使用を中止し、カスタマーサービスまでご相談ください。

WINDBURNER® パーソナル ストーブシステムの取扱い方法

- ストーブの構成部品:**
- G. ミキサーチューブ
 - L. PackTowl
 - A. インジケーターワイヤー
 - H. ホットの蓋
 - M. ホットインシュレーター
 - B. バーナースクリーン
 - I. ガスカートリッジスタンド
 - N. ホット
 - O. ホットインシュレーター
 - C. バーナーリム
 - J. レギュレーターバルブ
 - P. ベースカップ
 - D. ストーブ覆い
 - K. ガスカートリッジ
 - E. ストーブグリップ
 - F. フレームアジャスター

1. ストーブとガスカートリッジの接続 1. フレームアジャスター (F) を閉じます。フレームアジャスターを右回りに回します。2. ストーブをカートリッジ上部に接続し、しっかりと止まるまで手で締めます。

危険 ガスカートリッジは、ストーブにきつく締めすぎないでください。締めすぎると、ストーブが破損したり、カートリッジからのガス漏れを起こす可能性があります。ガス漏れは、火災、やけど、重度の怪我、死亡事故等の原因となります。

氷点下でストーブを使用する場合は、細心の注意を払ってください。氷点下では、リングが硬くなり、ガスが漏れる可能性があります。ストーブに点火する前後は、ガスが漏れていないか必ず確認してください。ガス漏れを起こしているストーブを使用すると、火災、やけど、重度の怪我、死亡事故を引き起こす恐れがあります。

ストーブや燃料のそばに幼児が近づかないよう注意してください。その場合、カスケードデザイン社では、3 m 以内に近づかないことをお奨めします。燃焼しているストーブや熱いストーブから目を離さないでください。ストーブを放置すると、火災に燃える恐れがあり、幼児、ペット、ストーブに気が付かない人が、やけどや怪我をし、死亡事故に至る場合があります。

2. ストーブの設置 1. 調理する場所の周りには、可燃物や引火性のある液体や燃料を置かないでください。2. MSR® カートリッジスタンド (I) は、小型ガスカートリッジ (直径 10.2 cm 以下) に使用します。ガスカートリッジの底を 2本の脚に当ててから3本目の脚を広げます。3. ストーブは表面が平らで安定した場所に置いてください。

危険 可燃物は、燃焼しているストーブや点火しようとしているストーブの上部および周辺から少なくとも 1.2 m 離してください。引火性のある液体やガスは、燃焼しているストーブや点火しようとしているストーブの上部および周囲から少なくとも 7.6 m 離してください。このストーブは、可燃物、引火性のある液体やガスを引火させることがあり、火災、やけど、重度の怪我、死亡事故に至るような状況を引き起こします。

フレームアジャスターが開いたままになっている場合は、決してストーブに点火しないでください。フレームアジャスターが開いたままになっている場合はすぐに閉じ、完全に換気してから、ストーブに点火してください。ガス漏れがあった場合、換気せずに点火すると、爆発を引き起こすことがあり、火災、やけど、重度の怪我、死亡事故等に至る場合があります。

3. ストーブの点火 1. バーナースクリーン (B) の上に火のついたマッチまたはライターを近づけます。ミキサーチューブ (G) からは決して点火しないでください。2. ガスが出るまで、フレームアジャスターを開きます。フレームアジャスターを 2 回転ほど左に回します。3. バーナーの点火を確認します。バーナーが赤くなり始める前にかすかな青い炎が確認できます。バーナーメッシュ (B) あるいは点火インジケーターワイヤー (A) が赤くなり、熱を発するようになると、バーナーの使用を開始することができます。10 秒以内に点火しない場合は、フレームアジャスターを閉め、15 秒ほど待つってから再度、ステップ 1~3 を繰り返します。

危険 ストーブを点火するときは、注意して記載の手順に従ってください。このストーブは、誤用時に使用者を保護する機能を備えています。誤用時には、この機能が一時的に働きます。安全な温度に下がるまでガスを止めてお待ちください。「サーマルトリップ機能」をご覧ください。フレームアジャスターの近く、または調理器具を置いたまま、ストーブを点火しないでください。指定された方法以外でストーブを点火すると、ストーブが過熱し、火事、やけど、重度の怪我、死亡事故に至るような状況を引き起こす場合があります。ストーブが操作不能になった場合は、直ちに使用を中止し、MSR 販売代理店までストーブをお持ちください。ストーブの点火中や燃焼中は、頭や体がストーブの上部に来ないようにしてください。頭や体がストーブの上部に来ると、火災、やけど、重度の怪我、死亡事故を引き起こす恐れのある危険な行為です。

4. ストーブを使用して調理 1. ポットに食品や液体を入れます。MAX. FILL (ポット内側) を越えないように入れます。2. バーナーリム (C) に合わせ、ポットをストーブの上に置きます。3. 一方の手でストーブグリップ (E) を持ち、他方の手でバーナーにしっかりとロックされるまでポットを右回りに回します。4. フレームアジャスターを回して火力を調節します。

危険 熱いストーブや燃焼中のストーブを移動させないでください。移動する場合は、ストーブの火を消してから必ず最低 5 分間冷まします。熱いストーブや燃焼中のストーブを移動すると、火災、やけど、重度の怪我を引き起こす恐れがあります。2 つ以上のストーブを並べて同時に使用しないでください。中が空のポットあるいは液体の入っていないポットでストーブを使用しないでください。WindBurner 以外の調理器具、熱反射板、デューザーを使用しないでください。ストーブを間違った方法で使用する、ガスカートリッジが爆発し、火災、やけど、重度の怪我、死亡事故に至る場合があります。

5. 消火方法とポットを食器として使用する場合 1. 調理が終わったらフレームアジャスターバルブを閉じます。フレームアジャスターを 2 回半ほど右に回して完全にガスを止めます。2. ストーブを消火後、ポットを持ってポットをバーナーから外します。ポットと調理されたものが熱すぎなくなるまで待つから召し上がってください。ご注意: 洗浄のためにポットからインシュレーターを外すには、ポットのラッチを外しインシュレーターを下にスライドさせ取り外します。

危険 ポットを食器として使用する場合は、中の食べ物、飲み物をポットから注ぐ場合は、必ずガスカートリッジを外してください。ポットに取り付けた状態で燃焼中のストーブが転倒すると、大きく炎が上がり、火災、やけど、重度の怪我、死亡事故等に至る場合があります。

6. ストーブの収納 1. バーナースクリーンが赤くなくなってから、ストーブが冷めるまで 5 分間待ちます。2. 引火源となる可能性のあるものからストーブを遠ざけ、ガスカートリッジを緩めます。カートリッジを取り出すときに、少量のガスが溢れる場合があります。3. PackTowl® をポットの底に敷き、カートリッジを逆さまにし、次にストーブを逆さまにします。カートリッジスタンドをストーブグリップ内に入れます。ポットのフタをします。ベースカップをポットの底に入れます。ご注意: 長期保管する場合は、ストーブと PackTowl が完全に乾いていることを確認してください。濡れたままの状態での保管は、サビの原因となります。

危険 ストーブを保管するときは、必ずガスカートリッジを外してください。ガスカートリッジを外さずに保管するとガス漏れを引き起こし、火災、やけど、重度の怪我、死亡事故等の原因となる場合があります。ガスカートリッジは、湯水器、ストーブ、ボイラー、暖房器具、温度が 49°C を超える場所等、熱源や引火源から離れた換気の良い場所に必ず保管してください。熱源や引火源の近くや、温度が 49°C を超える場所等ではガスカートリッジを保管すると、爆発する恐れがあり、火災、やけど、重度の怪我、死亡事故等の原因となる場合があります。

サーマルトリップ機能をリセットする

1. ストーブが冷めるまで 5 分ほど待ちます。ストーブからガスカートリッジを取り外します。2. フレームアジャスターを左回りに 2 回転締めます。3. ガスカートリッジスタンドの 3本の脚をストーブのミキサーチューブの穴に挿入します。挿入された脚はミキサーチューブで止まるはずですが、4. クリック音が聞こえるまで脚を右回転させ、真鍮製のジョイントを下方に押し下げます。5. フレームアジャスターを閉じてからガスカートリッジを接続します。これで、ストーブを使用することができます。

ストーブの整備は、カスケードデザイン社認定の専門業者のみが行うことができます。マニュアルの不明点やストーブ、交換部品、修理についての質問は、カスケードデザイン社までご連絡ください。

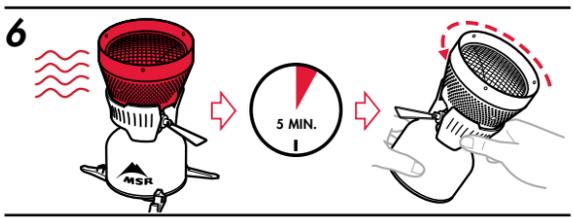
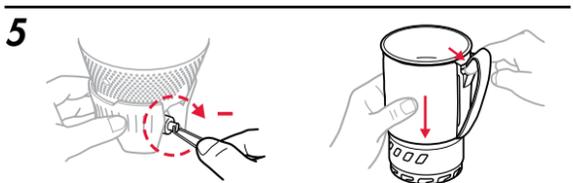
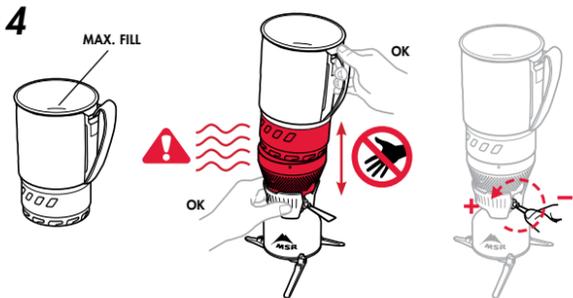
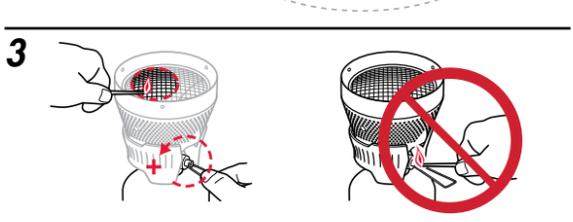
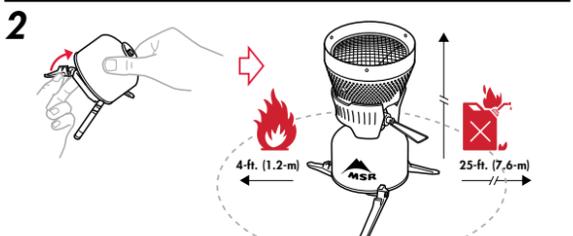
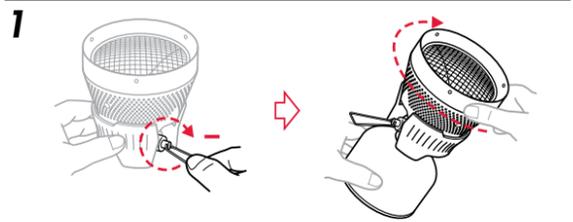
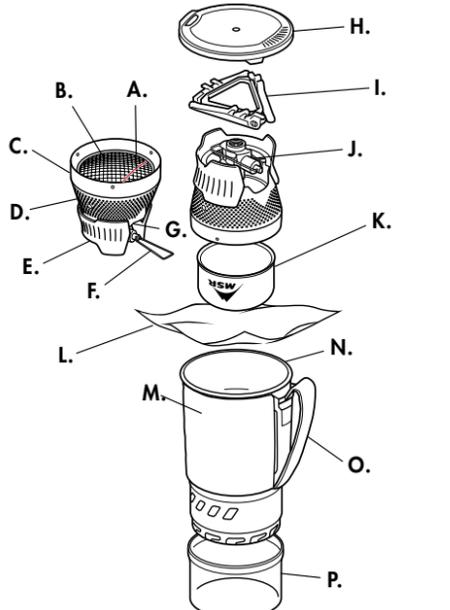
限定保証の詳細については、msrgear.com/warranty をご覧ください。

トラブルシューティングには、こちらをご覧ください: msrgear.com/windburner-personal

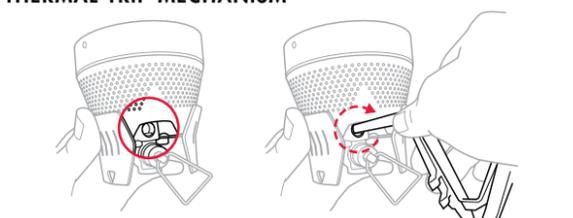


WINDBURNER® PERSONAL STOVE SYSTEM INSTRUCTIONS

Retain these instructions for future reference.



THERMAL TRIP MECHANISM



Nominal Heat Input Rate:
2 kW 154 g/h

Stove Orifice Size: 0.30 mm

NOTE: Nominal Heat Input Rate varies depending on test procedures of the particular standards agency.



Cascade Designs, Inc., 4000 First Avenue South, Seattle, WA 98134 USA
Cascade Designs, Inc., USA - 1-800-531-9531 or 206-505-9500
Cascade Designs, Ltd., Ireland + (353) 21-4621400
www.msrgear.com | info@cascaadedesigns.com